



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名
 コード番号 3504 URL <https://www.maruhachi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 陽夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,140	△6.5	433	92.8	500	618.5	314	—
2020年3月期第1四半期	3,357	△12.3	224	△24.8	69	△83.2	4	△97.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 117百万円(119.2%) 2020年3月期第1四半期 53百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	20.29	—
2020年3月期第1四半期	0.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	59,699	45,033	75.4
2020年3月期	58,564	45,380	77.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 45,033百万円 2020年3月期 45,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,447	△7.0	619	46.5	757	171.4	427	222.8	27.56
通期	12,611	△7.1	1,086	35.9	1,356	59.1	741	50.0	47.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	16,579,060株	2020年3月期	16,579,060株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,081,540株	2020年3月期	1,081,540株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	15,497,520株	2020年3月期1Q	15,497,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。」とされており、先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されます。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

(寝具・リビング用品事業)

当第1四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・増益となりました。

減収の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により得意先の各種経済活動が停滞しており、殆どの販売チャネルにおいて営業活動が滞ったためであります。また、主力のダイレクトセールス部門におきまして、販売員増員を課題として認識しておりますが、継続的な採用活動に努めるも奏功せず減員となったためであります。

一方、増益となった主な要因は、ダイレクトセールス部門においてクリーニングの好調等により一人当たり売上高が上昇したこと及び当社グループ全体で業務効率化と経費圧縮に努めたことによるものであります。

(不動産賃貸事業)

当第1四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ売上・利益とも概ね横這いで推移いたしました。新型コロナウイルスの感染が拡大する状況下においても、主要物件である西新宿パークウェストビル・丸八青山ビル・丸八新横浜ビルの収益は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は3,140,377千円と前年同四半期と比べ217,587千円(6.5%)の減収となりました。営業利益は433,097千円と前年同四半期と比べ208,427千円(92.8%)の増益となりました。経常利益は前年同四半期において為替差損を278,854千円計上したこと等により、前年同四半期と比べ430,938千円(618.5%)増益の500,617千円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は314,403千円となり、前年同四半期と比べ309,438千円(6,232.5%)の増益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は2,885,142千円と前年同四半期と比べ236,334千円(7.6%)の減収、セグメント利益(営業利益)は431,970千円と前年同四半期と比べ170,481千円(65.2%)の増益となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は255,235千円と前年同四半期と比べ18,746千円(7.9%)の増収、セグメント利益(営業利益)は143,382千円と前年同四半期と比べ16,842千円(13.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,135,186千円増加し、59,699,517千円となりました。これは主に、長期借入金等により現金及び預金が584,602千円増加したこと及び夏期以降の出荷に備えた仕入・生産活動等によりたな卸資産が338,433千円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,482,238千円増加し、14,665,805千円となりました。これは主に、長期借入金が1,000,000千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して347,051千円減少し、45,033,711千円となりました。これは主に、海外子会社の換算レートの変動により為替換算調整勘定が219,273千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

これまで未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び配当予想を記載しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,196,234	28,780,837
受取手形及び売掛金	6,138,406	6,248,352
有価証券	1,789,439	1,778,720
たな卸資産	2,198,838	2,537,272
その他	372,386	568,191
貸倒引当金	△66,749	△75,712
流動資産合計	38,628,555	39,837,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,681,137	19,676,209
減価償却累計額	△14,574,242	△14,638,729
建物及び構築物(純額)	5,106,895	5,037,480
機械装置及び運搬具	2,670,519	2,660,351
減価償却累計額	△2,347,134	△2,355,229
機械装置及び運搬具(純額)	323,385	305,121
工具、器具及び備品	757,132	745,710
減価償却累計額	△526,715	△530,845
工具、器具及び備品(純額)	230,417	214,865
土地	13,069,599	13,036,996
建設仮勘定	1,767	18,283
有形固定資産合計	18,732,064	18,612,747
無形固定資産	28,819	26,590
投資その他の資産		
投資有価証券	673,771	717,434
繰延税金資産	290,036	300,877
その他	253,085	246,193
貸倒引当金	△42,001	△41,988
投資その他の資産合計	1,174,892	1,222,518
固定資産合計	19,935,775	19,861,856
資産合計	58,564,330	59,699,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	325,929	422,012
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	693,686	585,605
未払法人税等	166,169	157,195
賞与引当金	182,380	271,868
返品調整引当金	64,141	63,805
割賦利益繰延	1,154,167	1,120,148
その他	839,794	1,277,866
流動負債合計	4,426,270	4,898,502
固定負債		
長期借入金	7,000,000	8,000,000
役員退職慰労引当金	23,982	23,982
退職給付に係る負債	376,564	377,536
長期預り保証金	1,176,279	1,168,785
繰延税金負債	13,352	29,946
その他	167,118	167,053
固定負債合計	8,757,296	9,767,303
負債合計	13,183,567	14,665,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	47,309,339	47,158,816
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	46,621,195	46,470,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48,561	△22,535
繰延ヘッジ損益	5,511	2,229
為替換算調整勘定	△1,197,381	△1,416,655
その他の包括利益累計額合計	△1,240,432	△1,436,961
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,380,763	45,033,711
負債純資産合計	58,564,330	59,699,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,357,964	3,140,377
売上原価	1,107,968	889,374
売上総利益	2,249,996	2,251,003
販売費及び一般管理費	2,025,326	1,817,906
営業利益	224,670	433,097
営業外収益		
受取利息	92,532	61,860
受取配当金	6,527	6,206
受取手数料	15,241	19,882
その他	20,890	6,921
営業外収益合計	135,192	94,871
営業外費用		
支払利息	3,332	3,393
為替差損	278,854	22,739
その他	7,996	1,218
営業外費用合計	290,183	27,351
経常利益	69,678	500,617
特別利益		
有形固定資産売却益	1,673	1,091
特別利益合計	1,673	1,091
特別損失		
減損損失	—	32,602
有形固定資産売却損	—	51
有形固定資産除却損	15,151	753
特別損失合計	15,151	33,407
税金等調整前四半期純利益	56,201	468,301
法人税等	51,236	153,898
四半期純利益	4,964	314,403
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,964	314,403

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	4,964	314,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,429	26,025
繰延ヘッジ損益	△651	△3,281
為替換算調整勘定	55,901	△219,273
その他の包括利益合計	48,821	△196,529
四半期包括利益	53,786	117,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,786	117,873
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,121,476	236,488	3,357,964	—	3,357,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	59,382	59,382	△59,382	—
計	3,121,476	295,870	3,417,347	△59,382	3,357,964
セグメント利益	261,489	126,539	388,028	△163,358	224,670

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△59,382千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△163,358千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,885,142	255,235	3,140,377	—	3,140,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	59,336	59,336	△59,336	—
計	2,885,142	314,571	3,199,714	△59,336	3,140,377
セグメント利益	431,970	143,382	575,352	△142,255	433,097

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△59,336千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△142,255千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

不動産賃貸事業において、一部の固定資産について異なる用途への転用に伴い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し32,602千円を減損損失(特別損失)に計上しております。